

ASCII (アスキー) コード表

十進	ASCII	十進	ASCII	十進	ASCII	十進	ASCII
0	NULL: NUL 文字	32	SP: 空白	64	@	96	`
1	SOH: ヘッダ開始	33	!	65	A	97	a
2	STX: テキスト開始	34	"	66	B	98	b
3	ETX: テキスト終了	35	#	67	C	99	c
4	EOT: 転送終了	36	\$	68	D	100	d
5	ENG: 照会	37	%	69	E	101	e
6	ACK: 受信 OK	38	&	70	F	102	f
7	BEL: 警告	39	'	71	G	103	g
8	BS: 後退	40	(72	H	104	h
9	HT: 水平タブ	41)	73	I	105	i
10	LF: 改行	42	*	74	J	106	j
11	VT: 垂直タブ	43	+	75	K	107	k
12	FF: 改ページ	44	,	76	L	108	l
13	CR: 復帰	45	-	77	M	109	m
14	SO: シフトアウト	46	.	78	N	110	n
15	SI: シフトイン	47	/	79	O	111	o
16	DLE: データリンクエスケープ	48	0	80	P	112	p
17	DC1: 装置制御 1	49	1	81	Q	113	q
18	DC2: 装置制御 2	50	2	82	R	114	r
19	DC3: 装置制御 3	51	3	83	S	115	s
20	DC4: 装置制御 4	52	4	84	T	116	t
21	NAK: 受信失敗	53	5	85	U	117	u
22	SYN: 同期	54	6	86	V	118	v
23	ETB: 転送ブロック終了	55	7	87	W	119	w
24	CAN: 取り消し	56	8	88	X	120	x
25	EM: メディア終了	57	9	89	Y	121	y
26	SUB: 置換	58	:	90	Z	122	z
27	ESC: エスケープ	59	;	91	[123	{
28	FS: フォーム区切り	60	<	92	¥	124	
29	GS: グループ区切り	61	=	93]	125	}
30	RS: レコード区切り	62	>	94	^	126	~
31	US: ユニット区切り	63	?	95	_	127	DEL:削除

赤字は制御文字 (非表示) SP は空白文字 ¥ は環境によって \ (バックスラッシュ)

記号の呼び方と UNIX 環境（シェル）の中で持つ意味

!	ビックリ, エクスクラメーションマーク	履歴の参照 !c: c で始まる直近のコマンド
"	ダブルクォート	領域を文字列として解釈 (中の\$展開)
#	シャープ, 井桁	シェルスクリプトのコメント行 (行頭)
\$	ドル	環境変数展開, (正規表現で) 行末
%	パーセント	プロンプト
&	アンド, アンパサンド	リダイレクト時の標準エラー出力指定
'	シングルクォート	領域を文字列として解釈 (\$展開しない)
(カッコ (開く)	
)	カッコ (閉じる)	
*	アスタリスク, 星	メタキャラクタ 任意長の文字列にマッチ
+	プラス	
,	コンマ	
-	マイナス, ダッシュ	
.	ピリオド, ポチ	カレントディレクトリ
/	スラッシュ	ルートディレクトリ, ディレクトリの区切
:	コロソ	何もしないコマンド コメントを書ける
;	セミコロソ	1 行にコマンドを続けて書く時の区切り
<	小なり, less than	リダイレクト ファイルからの入力
=	イコール	シェル変数への代入
>	大なり, more than	リダイレクト ファイルへの出力
?	はてな, クェスチョンマーク	メタキャラクタ 任意の 1 文字にマッチ
@	アットマーク	シンボリックリンクに表示
[カギカッコ (開く)	
¥	円マーク = \バックスラッシュ	直後の記号の意味をキャンセル (文字として扱う)
]	カギカッコ (閉じる)	
^	キャレット	(正規表現で) 行頭, \$の反対
_	アンダースコア, 下棒	ファイル名やディレクトリ名に使える唯一の記号
`	バッククォート	領域をコマンドと解釈して結果を出力
{	中カッコ (開く)	
	パイプ, 縦棒	左のコマンド出力を右のコマンドの入力とする
}	中カッコ (閉じる)	
~	チルダ, ニョロ	ホームディレクトリ

赤字は UNIX 以外であまり使わないのでキーボード上の位置を確認しておくこと